

島原市水道事業業務状況説明書

平成31年度下半期
(令和元年度下半期)

自 令和元年10月 1日
至 令和2年 3月31日

令和2年5月

島原市水道課

目 次

1 概 況	1 頁
2 事業の概況	2 頁
3 工事等の概況	3 頁
4 予算の概要	
令和 2 年度島原市水道事業会計予算	
第 1 条（総則）～第 3 条（収益的収入及び支出）	4 頁
第 4 条（資本的収入及び支出）～第 6 条（企業債）	5 頁
第 7 条（議会の議決を経なければ流用することができない経費）	6 頁
～第 1 1 条（たな卸資産購入限度額）	

1 概 況

(1) 総括事項

本年度下期は、1 上水道事業、1 簡易水道事業（中木場簡易水道事業）により事業を行っています。

(2) 業務の概況

令和2年3月末の上水道の給水戸数は、19,629 戸と前年同期比で、38 戸（0.2%）の減、簡易水道は、569 戸で3 戸（0.5%）の増となっています。

有収水量は、上水道が 2,245,253 m³で、前年同期比で、45,235 m³（2.0%）の減、簡易水道が 79,686 m³で、前年同月比で、1,012 m³（1.3%）の減となっています。

(3) 工事等の概況

建設工事は18 件の総額 443,829,200 円で、うち1 件の工事費 102,355,000 円（令和3年度竣工予定）を除き、全て3 月末までに竣工しており、業務委託は3 件の総額 11,838,840 円を発注しており、3 末日までに竣工しています。

また、重要資産で上の原浄水場建設用地として 7,326.8m²を取得しています。

(4) 議会議決事項

議案番号	件 名	提出年月日	議決年月日
第22 号議案	令和2 年度島原市水道事業会計予算	令和2 年2 月28 日	令和2 年3 月19 日

(5) 行政官庁許認可事項

該当事項なし。

(6) 職員に関する事項

（単位：人）

職員別	令和2 年3 月31 日現在職員数	平成31 年3 月31 日現在職員数	増減
事務職員	7	6	1
技術職員	6	6	0
水道整備員	2	3	△1
計	15	15	0

2 事業の概況

(1) 業務量

(令和2年3月末現在)

区 分		単位	上 水 道			簡 易 水 道		
			本 年 度	前 年 度	前年度との 比 較 増 減	本 年 度	前 年 度	前年度との 比 較 増 減
給水区域内人口		人	42,917	43,177	△260	1,697	1,729	△32
給 水 人 口		人	42,621	42,873	△252	1,696	1,726	△30
普 及 率		%	99.3	99.3	0.0	99.9	99.8	0.1
給 水 戸 数		戸	19,629	19,667	△38	569	566	3
給水量	10月～3月	m ³	2,866,267	2,923,606	△57,339	89,206	93,719	△4,513
	1ヶ月平均	m ³	477,711	487,268	△9,557	14,868	15,620	△752
	1日平均	m ³	15,663	16,064	△401	487	515	△28
有収水量	10月～3月	m ³	2,245,253	2,290,488	△45,235	79,686	80,698	△1,012
	1ヶ月平均	m ³	374,209	381,748	△7,539	13,281	13,450	△169
	1日平均	m ³	12,269	12,585	△316	435	443	△8
一日最大給水量		m ³	16,796	17,452	△656	556	589	△33
有 収 率		%	78.3	78.3	0.0	89.3	86.1	3.2

(2) 口径別使用水量

(令和元年10月～令和2年3月)

口径	上 水 道		簡 易 水 道		合 計	
	戸数 (戸)	水量 (m ³)	戸数 (戸)	水量 (m ³)	戸数 (戸)	水量 (m ³)
13mm	17,033	1,511,487	449	59,556	17,482	1,571,043
20mm	2,139	284,134	110	14,266	2,249	298,400
25mm	223	104,799	5	1,125	228	105,924
30mm	9	3,341	0	0	9	3,341
40mm	163	190,227	4	4,465	167	194,692
50mm	55	122,825	1	274	56	123,099
75mm	3	22,857	0	0	3	22,857
100mm	4	5,583	0	0	4	5,583
計	19,629	2,245,253	569	79,686	20,198	2,324,939

3 工 事 等 の 概 況

(1) 建設工事

No	工 事 名	工事費（円）	契約年月日	着工年月日 竣工年月日	備 考
1	霊南山の神線配水管布設工事	5,346,000	R元. 5. 31	R元. 5. 31 R元. 11. 13	拡張費
2	上の原水系導配水管布設工事（南工区）	6,682,500	R元. 6. 10	R元. 6. 11 R元. 10. 30	拡張費
3	水ノ出口水系（野田）減圧弁設置工事	10,519,300	R元. 7. 12	R元. 7. 12 R元. 11. 8	改良費
4	上の原水系導配水管布設工事（北工区）	45,234,200	R元. 7. 23	R元. 7. 24 R2. 3. 12	拡張費
5	上の原第1水源導水ポンプ更新工事	133,318,900	R元. 7. 25	R元. 7. 26 R2. 3. 10	拡張費
6	柏野下折橋線配水管布設替工事	4,865,400	R元. 7. 25	R元. 7. 26 R元. 9. 20	改良費
7	松尾・山之内線ほか1線配水管布設替工事	12,205,600	R元. 8. 7	R元. 8. 8 R元. 12. 12	改良費
8	新山・本町線改良工事に伴う配水管移設工事	12,001,000	R元. 8. 7	R元. 8. 8 R2. 3. 9	改良費
9	田町・新馬場2号線ほか1線配水管布設替工事	13,776,400	R元. 9. 13	R元. 9. 17 R2. 1. 9	改良費
10	上の原浄水場造成工事	102,355,000	R元. 10. 29	R元. 11. 1 R2. 8. 31	拡張費
11	小原・赤野線配水管布設替工事	18,555,900	R元. 11. 8	R元. 11. 11 R2. 3. 19	改良費
12	大下門内線配水管布設替工事	11,149,600	R元. 11. 8	R元. 11. 11 R2. 3. 26	改良費
13	緑町新山線ほか1線配水管布設替工事	13,722,500	R元. 11. 12	R元. 11. 13 R2. 3. 19	改良費
14	中木場低区配水池改修工事	9,284,000	R元. 12. 2	R元. 12. 2 R2. 3. 10	改良費
15	上の原水系導配水管布設に伴う舗装本復旧工事	24,638,900	R元. 12. 13	R元. 12. 16 R2. 3. 25	拡張費
16	霊南山の神線配水管布設工事（その2）	8,376,500	R元. 12. 16	R元. 12. 16 R2. 3. 20	拡張費
17	北安德船泊線配水管布設替工事	8,790,100	R元. 12. 25	R元. 12. 26 R2. 3. 26	改良費
18	舞人堂線ほか3線消火栓設置工事	3,007,400	R2. 1. 24	R2. 1. 27 R2. 3. 30	拡張費
合 計		443,829,200			

(2) 業務委託

No	委 託 名	委託費（円）	契約年月日	期 間	備 考
1	国道57号小口径推進工法に係る地質調査業務委託	2,697,840	R元. 8. 26	R元. 8. 26 R元. 9. 30	拡張費
2	国道57号横断小口径推進工法設計業務委託	7,480,000	R元. 11. 29	R元. 12. 2 R2. 3. 25	拡張費
3	新山・門内線路面下レーダ探査業務委託	1,661,000	R2. 1. 31	R2. 2. 3 R2. 3. 26	拡張費
合 計		11,838,840			

(3) 重要な資産の取得

No	委 託 名	用地費（円）	契約年月日	面積	備 考
1	上の原浄水場建設用地の取得 （長崎県島原市字眉山5643番地80）	16,485,300	R元. 8. 27	7,326.8㎡	固定資産 購入費
合 計		16,485,300			

4 予算の概要

令和2年度島原市水道事業会計予算

(総 則)

第1条 令和2年度島原市水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

上水道事業

(1) 給水戸数	1 ^万 9,697 戸
(2) 年間総給水量	567 ^万 6,000 m ³
(3) 1日平均給水量	1 ^万 5,551 m ³

簡易水道事業

(1) 給水戸数	567 戸
(2) 年間総給水量	19 ^万 1,000 m ³
(3) 1日平均給水量	523 m ³

(収益的收入及び支出)

第3条 収益的收入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入

第1款 水道事業収益	8 ^億 4,545 ^万 8 千円
第1項 営業収益	7 ^億 2,138 ^万 2 千円
第2項 営業外収益	1 ^億 2,407 ^万 4 千円
第3項 特別利益	2 千円

支 出

第1款 水道事業費用	7 ^億 6,329 ^万 1 千円
第1項 営業費用	6 ^億 7,442 ^万 3 千円
第2項 営業外費用	8,886 ^万 7 千円
第3項 特別損失	1 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。(資本的収入額が資本的支出額に不足する額 4^億2,740^万1千円は、当年度分消費税資本的収支調整額 5,391^万9千円、過年度分損益定留保資金 7,761^万4千円、当年度分損益勘定留保資金 2^億1,894^万7千円及び建設改良積立金 7,692^万1千円で補てんするものとする。)

収 入

第1款	資 本 的 収 入	4 ^億 3,671 ^万 7 千円
第1項	企 業 債	3 ^億 7,800 ^万 0 千円
第2項	出 資 金	1 千円
第3項	固定資産売却代金	1 千円
第4項	負 担 金	600 ^万 0 千円
第5項	補 助 金	5,271 ^万 5 千円

支 出

第1款	資 本 的 支 出	8 ^億 6,411 ^万 8 千円
第1項	建 設 改 良 費	6 ^億 5,901 ^万 1 千円
第2項	企 業 債 償 還 金	2 ^億 510 ^万 7 千円

(継続費)

第5条 継続費の総額及び年割額は、次のとおりと定める。

款	項	事業名	総額	年度	年割額
1 資本的支出	1 建設改良費	上の原浄水場築造施工監理業務	千円 2,960 ^万 0		千円
				令和2年度	1,408 ^万 0
				令和3年度	1,552 ^万 0

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
上水道拡張事業 上水道改良事業	千円 2 ^億 8,100 ^万 0 9,700 ^万 0	証書借入	年4.0 % 以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れを行った場合について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	借入先の融資条件による。ただし、企業財政その他の都合により繰上償還又は低利に借り換えることができる。
計	3 ^億 7,800 ^万 0			

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は5^億 0^万0千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することのできる場合は、次のとおりと定める。

(1) 営業費用と営業外費用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又は、それ以外の経費を、その経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 1^億4,241^万0 千円

(2) 交 際 費 1^万1 千円

(他会計からの補助金)

第10条 中木場、油堀・長貫及び有明町簡易水道建設事業の起債に係る元利償還、地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費のため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、6,184^万2千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第11条 たな卸資産の購入限度額は 1,255^万8千円と定める。